

福岡市立病院機構における
重要課題の対応について

1 ふくおかハウス 10 年間の取組について

保健医療局

1 ふくおかハウス 10 年間の取組について

(1) 概要

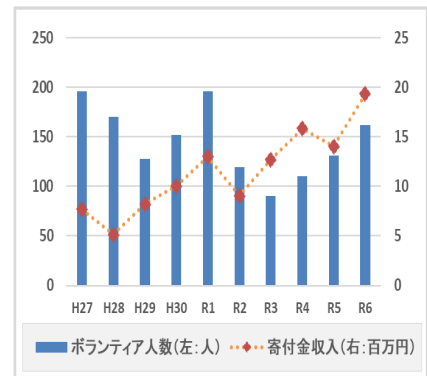
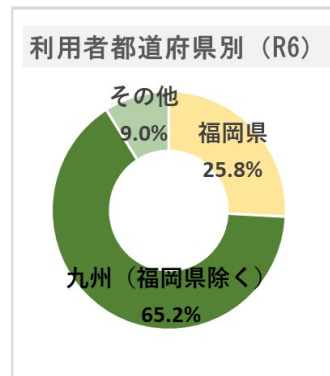
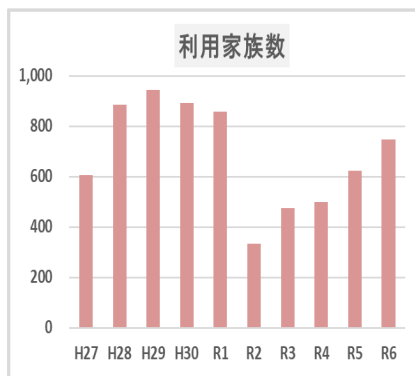
- ドナルド・マクドナルド・ハウス ふくおか（ふくおかハウス）は、子どもの治療に付き添うご家族のための滞在施設。

平成 25 年 5 月より、経済界、医療界、市民団体、スポーツ界など幅広い関係者の協力を得て「ふくおかハウス建設募金」を実施。この募金額（2 億 847 万円余）をもとに、こども病院敷地内にて、全国で 10 番目、九州地域では初となるドナルド・マクドナルド・ハウスとして、平成 27 年 5 月より運営を開始した。

- ・設 備：プライバシーを守れるように配慮したベツルームのほか、日常生活がスムーズにおくれるように、自炊ができるキッチンやリビング、ダイニング、ランドリーやプレイルームを完備。
- ・利用料：1 人 1 日 1,000 円

- ふくおかハウスの利用状況について、コロナ禍前は稼働率が 80%を超え、利用をお断りするケースが発生していたことから、令和元年に 5 室増室し 21 室とした。令和 2 年以降はコロナ禍の影響により大きく利用が落ち込んだが、徐々に回復しつつある。なお、全体の概ね 4 分の 3 は県外からの利用者となっている。

また、運営の中心を担うボランティアスタッフ数についてはコロナ禍以降順調に回復しつつあり、寄付金についても一定程度確保できているなど、施設への理解は広がっている。



(2) 取組

入院・通院している子どもたちの QOL を向上させ、病気の子どもたちに笑顔をお届けすることを目的として、さまざまなプロジェクトを展開。(実施回数等は令和 6 年の実績)

- ハートフルカート：入院している子どもたちとご家族をサポートするため、日用品などの「ちいさなギフト」(文房具、おもちゃ、日用品、絵本、アメニティなど)をこども病院の病棟にて無償で配布。アビスパ福岡の選手によるサポートも定期的に行われている。実施回数 24 回 (953 名へ提供)



- ミールプログラム：付添家族に温かいお弁当を提供。44 回実施
- セラピー、マッサージ：ドクターストレッチ 48 名、ハンドマッサージ 36 名、ヘッドマッサージ 40 名

- 10 周年記念事業 (予定)：

① 病気の子どもと家族のこれからの目指す姿を考えるフォーラムを開催 (令和 7 年 10 月 4 日開催 場所：照葉アイランドシアター)

② チャリティフットサル：全国のハウスで定期開催しており、今年は福岡開催

